

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	1,750	250千円×7団体
合計	1,750	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「第8期岐阜県高齢者安心計画」の第4章「施策の展開」第1節3「介護予防・生活支援サービスの体制強化」

(2) 後年度の財政負担

国の第8期の介護保険事業計画策定指針において、充実事項として「介護予防・健康づくり施策の充実・推進」が挙げられているため、第8期期間は事業を実施する。

第9期においては、国の指針内容に合わせて実施を検討する。

(3) 事業主体及びその妥当性

介護保険制度を継続可能なものにしていくためには、介護予防は非常に重要な要素になる。介護予防を地域に根付かせ、効果のあるものにするためには、専門的な知識を持つリハビリテーション職の関与は必須であり、その方々が行う介護予防研修を補助することは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
7団体が毎年1回以上研修会を開催する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
① 各種団体による研修会の開催数	0 (H26)	5	7	7	7	71.4%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 以下の5団体にて研修会を1回以上開催した。 岐阜県理学療法士会、ぎふ音楽療法協会、岐阜県地域包括・在宅介護支援センター協議会、岐阜県歯科衛生士会、岐阜県栄養士会 新型コロナウイルス感染症の影響で、フレイル予防を含めた研修会をオンライン開催した。要介護状態に陥る前段階にフレイル状態があり、専門職がフレイルについて学ぶことにより、より効果的な介護予防を実施することができる専門職を育成することができている。
令和3年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和4年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	<p>高齢化のなか、フレイル予防を含めた介護予防の推進が強く求められている。口腔機能向上、運動器の機能向上、栄養改善の側面からアプローチすることが必要であり、各専門職団体による指導者養成研修の実施が必要である。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>事業開始後、継続して各専門職団体が介護予防に関する指導者養成研修を実施しており、市町村における総合事業の担い手が育成されている。</p>
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 1	<p>感染症拡大防止のため、本補助金によりオンラインによる研修を実施することができ、県内全域の専門職の資質の向上につながった。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>介護予防を推進するためには、リハビリ職等が地域で活動することが必要である。病院や事業所から地域へ出向くことができる体制整備が必要である。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>継続すべき事業。専門職の能力向上を図るとともに、各地域の状況に応じたサービスの創出のためにも、指導者養成研修を実施し、介護予防・地域づくりに対する知見を深めていただく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	